

水と山の事故を無くし、楽しい夏を！

例年7月から9月は水の事故や山での遭難など、多くの事故が発生しています。今年7月末までに10名以上の少年が水の事故で命を落としています。

また、岩手県内では今年度、大きな事故の発生はありませんが、昨年は12件の遭難事故が発生し、子どもを含む9人の方が負傷しています。

大切な子どもの命を守るため、安全なルールを決めましょう。



基本的なルール

- (1) 危険個所を事前に把握しておく。
- (2) 子どもを自分の視界から離さない。
- (3) 気象について、的確な状況判断をする。
- (4) 子どもだけでは水辺で遊ばせない。
- (5) 水辺で遊ぶときはライフジャケットを着用させる。

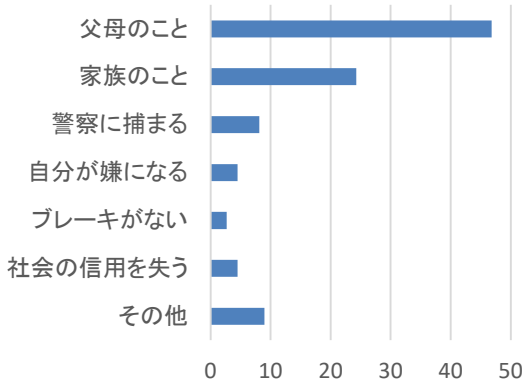


非行防止は家庭と地域から

7割以上が家族・父母が心のブレーキになったと回答

少年鑑別所入所者を対象に犯罪行為等の悪いことをしようとした時、それを思いとどまらせた「心のブレーキ」を調査した結果、家族・父母の存在が一番大きいことがわかりました。

心のブレーキ調査結果



令和4年犯罪白書から抜粋

何でも話すことができ、子どもの心のよりどころとなる家庭を作ることが少年非行を生まない大きな土壌となります。



北上市少年センター悩み相談室

当センターでは、少年少女の悩み相談(本人、家族等)を行っています。悩むより相談してみませんか。

電話 0197(72)8302

相談時間 月～金 9:00～17:00

場所 北上市大通り一丁目3番1号
おでんせプラザぐろーぶ3階
北上市少年センター



愛の一声運動継続実施中(7/1~8/31)

声かけは非行防止の第一歩！



7月、8月は「青少年の非行・被害防止県民運動」期間です。これに合わせて岩手県では「愛の一声運動」を実施しています。

当センターでは、通年で「愛の一声運動」を実施しており、4月から7月末までで、2,165人に「愛の一声」を届けています。

皆さんも家庭・地域の子どもを健全に育てるために、意識して「おはようございます」「いってらっしゃい」「車に気を付けて帰ってね」「こんにちは」「お帰りなさい」等、積極的な愛の一声をお願いします。



家庭でのルール作りとフィルタリングで、安全なインターネット利用を

全国的にSNSで知り合った相手から性犯罪被害を受けたり、不用意な投稿や「自撮り画像」送信により、大きなトラブルに発展した例もあります。

○「闇バイト」は犯罪！

SNSを使い、「簡単な仕事」や「高額報酬」などの誘い文句で、犯罪に加担させる「闇バイト」や「裏バイト」が大きな社会問題になっています。

大切な子供をネット被害から守るため、

家庭でのルールを決める

フィルタリングを設定する

等、家庭でできることを積極的に進めていきましょう。



補導日誌

6月19日(月) 18時～

さくら野百貨店は学校帰りの高校生と中総体予選の代休の中学生の姿が多かった。

また、公園内で夕涼みやバレーボール等をしている高校生が多かったが、補導員の腕章を見ると気にしている様子が見られた。

6月27日(火) 16時～

公園で小学生は数名遊んでいたが、特に問題なしで、道路を自転車で走る中学生や高校生にマナーを守るよう声かけした。

7月5日(水) 15時30～

お宮通り近くで8名の児童が大きな声を出しながら走ってきたが、その中の女子児童1名が転倒して膝を擦りむいて泣いていたので、応急救置をして友達に家までの付き添いをお願いした。

7月2日(火) 19時～

下校中の高校生が歩道を自転車走行していたのでマナーを守るように声をかけた。

また、コンビニの駐車場に学生数名が座り込んでいたので、早く帰るよう声かけをした。

